

まちづくり検討における 都市構造可視化の活用 ～分かりやすい分析ツールとして～



埼玉県 狭山市 都市計画課

1.狭山市の現況

狭山市の概要

埼玉県



緑と健康で豊かな文化都市



市の花/つつじ



市の木/茶の木



市の鳥/おなが

【人口】 約14万9千人

(令和4年1月1日時点)

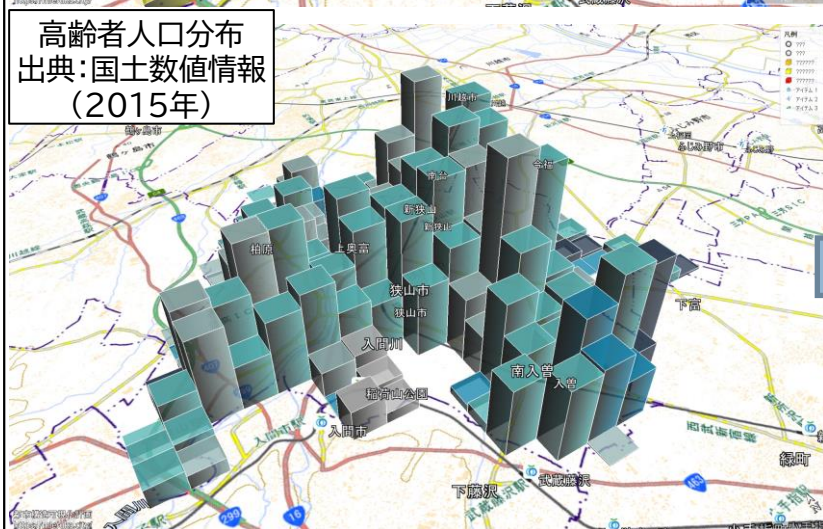
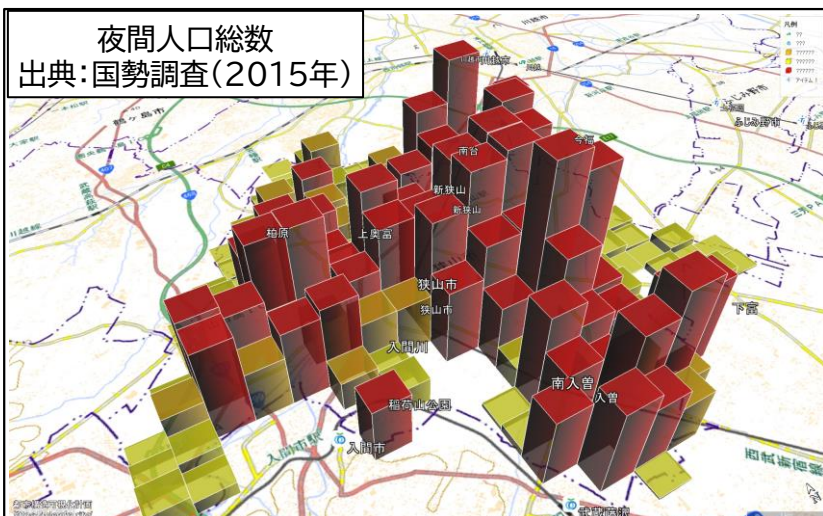
【面積】 都市計画区域 48.99km²

市街化区域 14.62km²

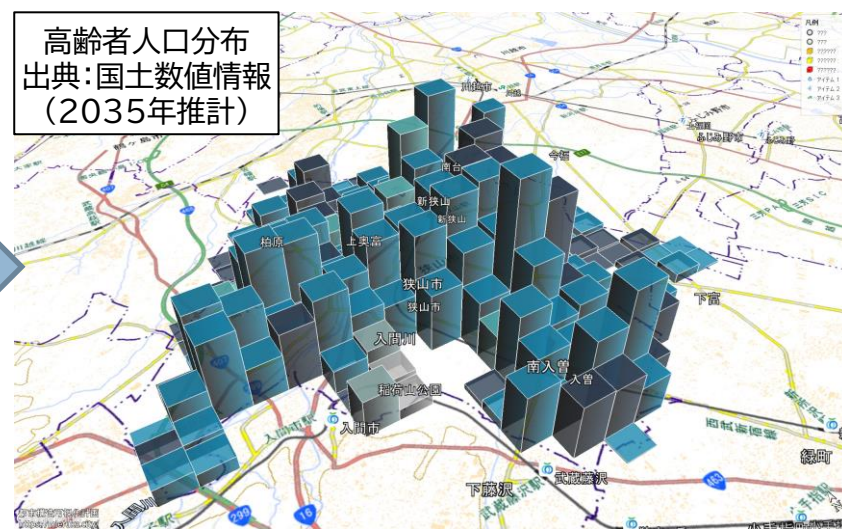
- 埼玉県南西部に位置
- 東京都心から約40km圏内
- 市内に私鉄4駅が所在、市東部を圏央道が通っている。(インターチェンジあり)
- 市内に工業団地を2つ有しており、製造品出荷額は県内でも上位

1. 狭山市の現況

狭山市の状況

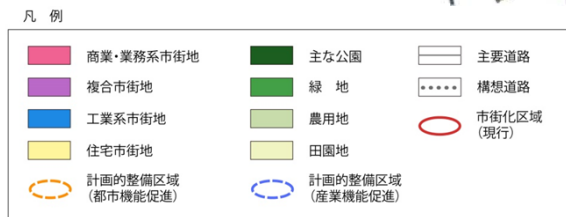
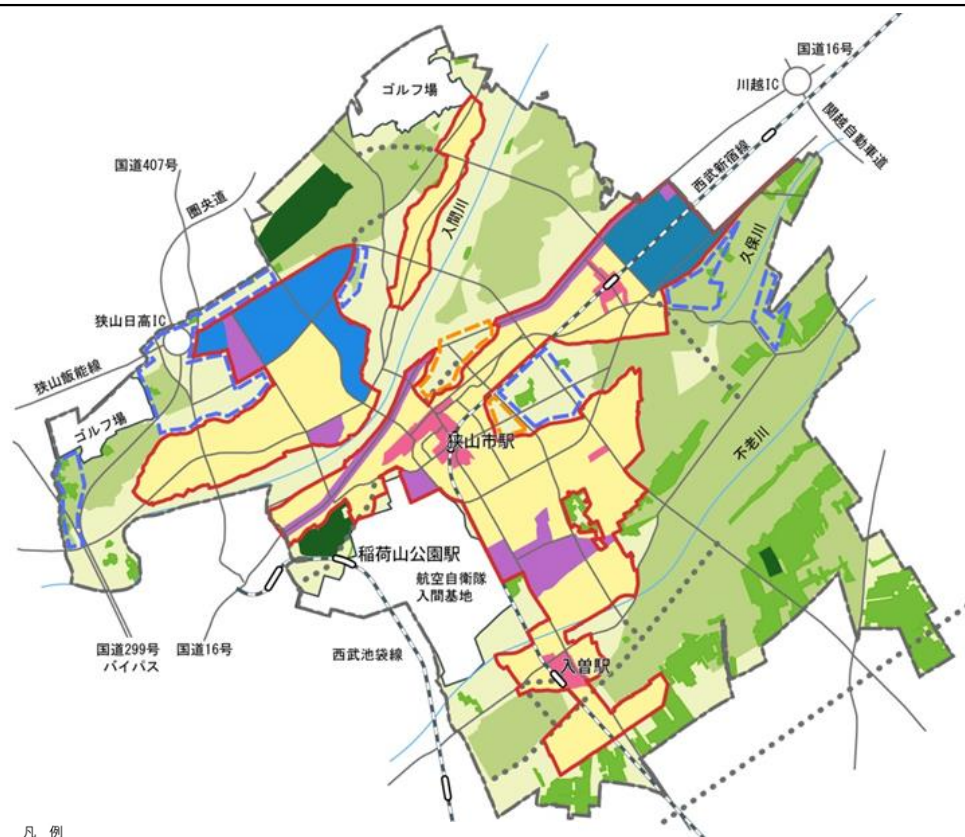


- ◆ 全体的に人口が減少している
- ◆ 特に住宅団地やニュータウン地区の人口減少が顕著であり、併せて高齢化が進んでいる
- ◆ 今後もこうした住宅団地の高齢化が顕著になる予測



2.まちづくり検討

まちづくり検討について



<図>土地利用の方針図
(出典:第2次都市計画
マスタープラン)

背景

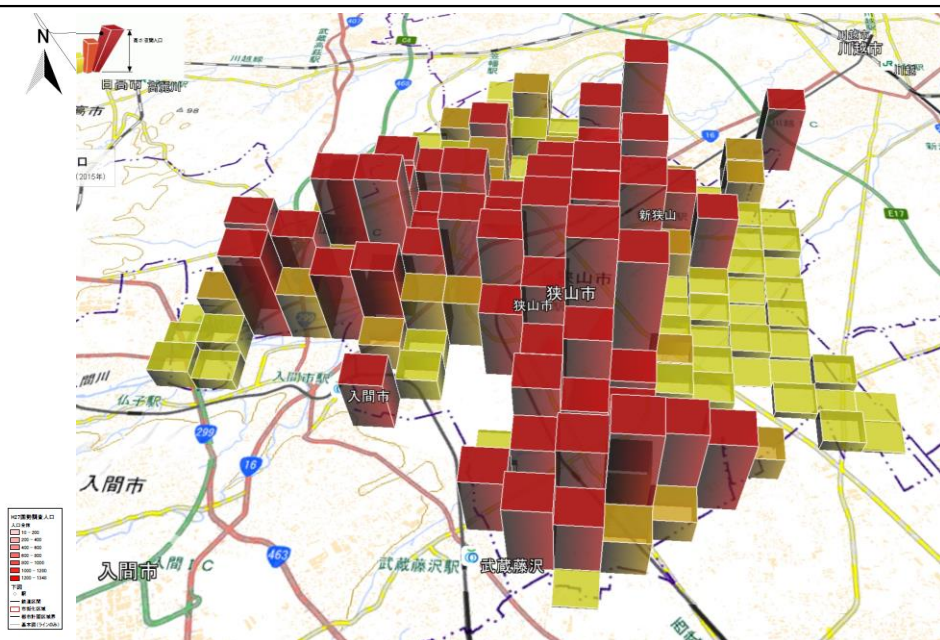
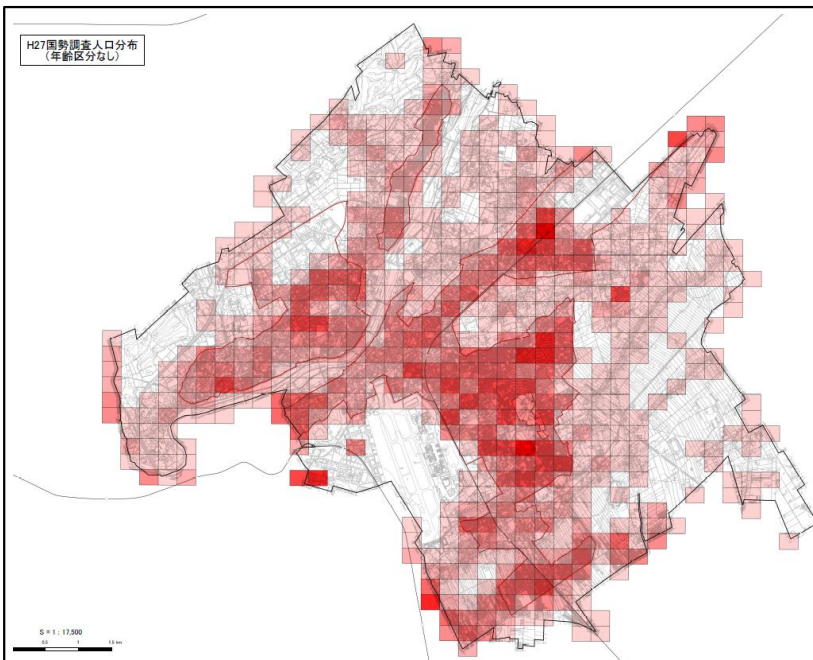
- 第5次狭山市総合計画の策定を予定(令和8年度)
- 第2次狭山市都市計画マスタープランの見直し(令和7年度)



- 上位計画の策定・見直し時期が今後予定されている
- 現行計画内で土地利用の方針について各地区位置づけがあるが、当初の策定期間より市の状況も変化している
- 都市計画部門として、市の現状及び将来を見据えたまちづくりの提案が必要

3.都市構造可視化の活用

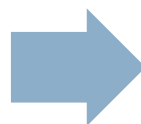
QGISとの併用



補注:都市構造可視化計画、地理院地図を使用

- 上図はどちらも同じ国勢調査(平成27年)の人口データ
- 2つの属性データをクロス表示させることができる都市構造可視化は、会議やプレゼンの際により有用

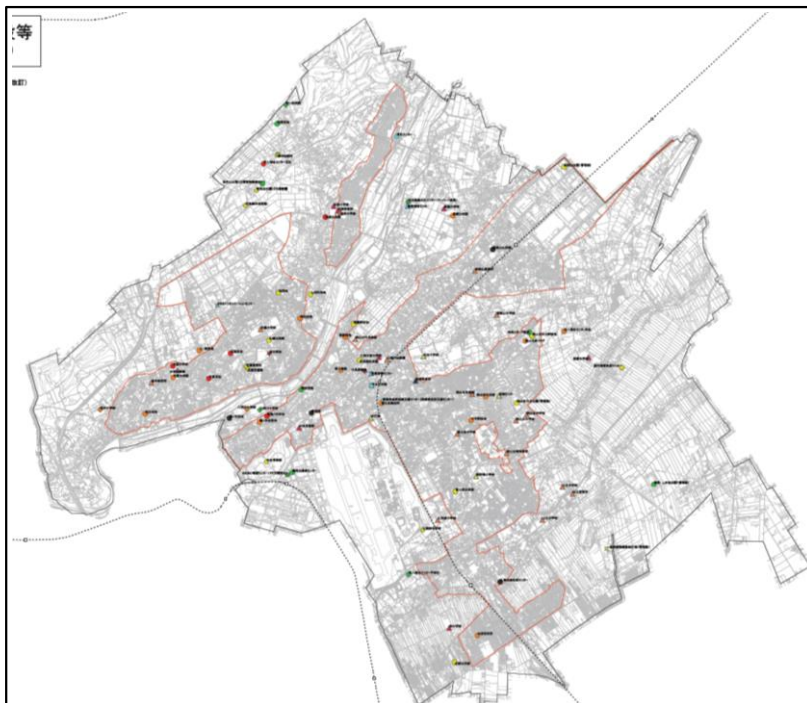
以前よりQGISを活用した都市データ
分析を課内で積極的に進めていた



蓄積していたShape形式データを
都市構造可視化にも転用

3.都市構造可視化の活用

QGISとの併用



【上図】市内公共施設分布図
(QGIS)

【右図】市内公共施設分布図+浸水想定図
(都市構造可視化)

- QGISで作成したデータを複数重ね合わせ、立体的な視点で都市の検討を行う
- QGISを編集・操作可能な職員に対して、都市構造可視化の仕組み、操作を説明

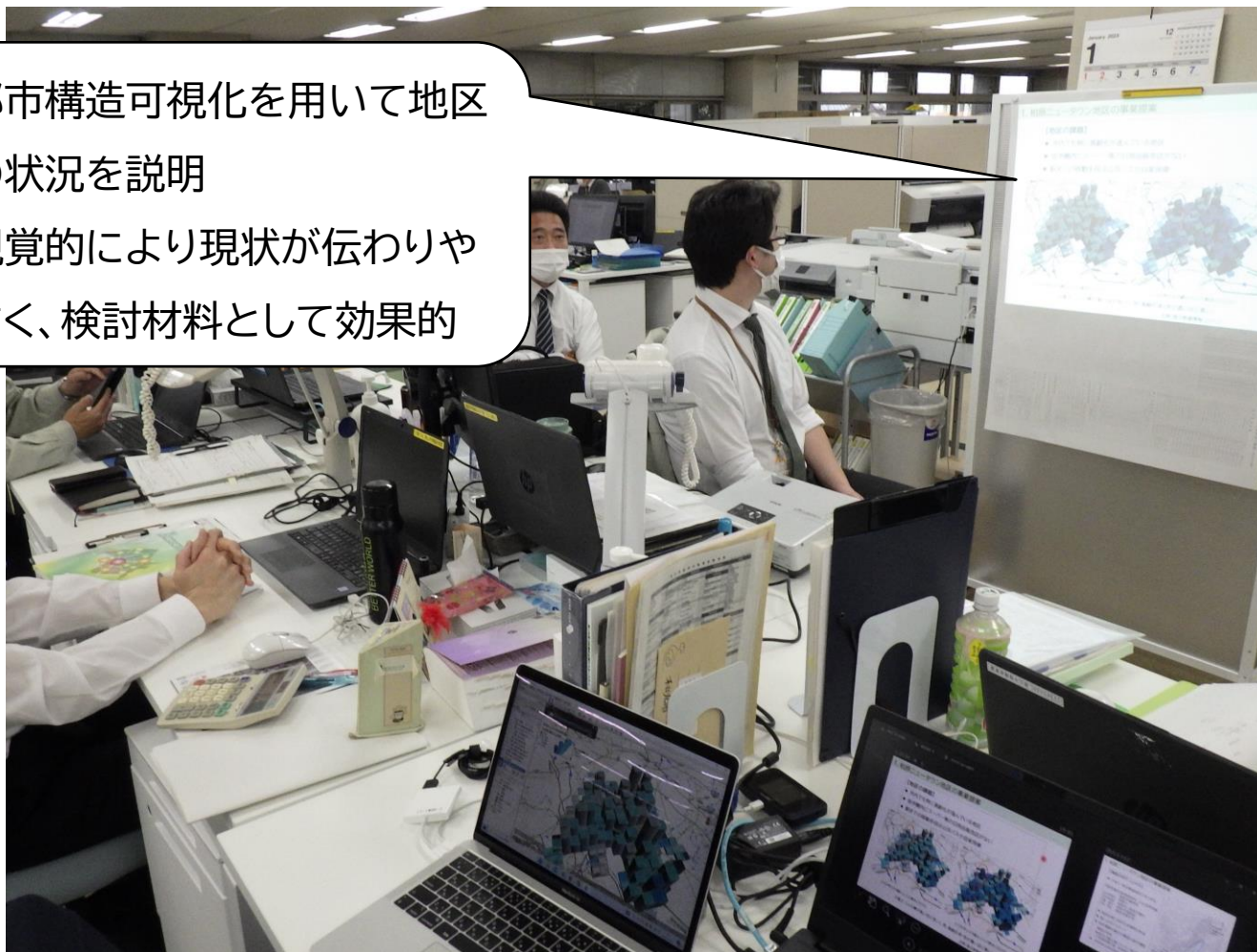


補注:都市構造可視化計画、Google Earthを使用

3.都市構造可視化の活用

都市計画課におけるミーティングでの活用

- 都市構造可視化を用いて地区の状況を説明
- 視覚的により現状が伝わりやすく、検討材料として効果的





シンサヤママーケット
(2021年はばたく商店街30選)



入間川七夕まつり



七夕の妖精 おりぴい



狭山市駅西口スカイテラス
(2014年グッドデザイン賞)